

会報 エコネットはんのう

編集・発行 / はんのう市民環境会議

第3回環境みるみるツアーを開催！

はんのうの環境を見る、知る、感じることを目的とした第3回目の「環境みるみるツアー」が10月22日に開催されました。ツアーの参加者は34人、マイクロバス2台を使い、ユガテ、高山不動、高麗川源流の碑など「東吾野・吾野地区」を巡りました。

ツアーは、実行委員の鴛田さんのガイドのもと、東吾野にある福德寺、東吾野まちづくり推進委員会がきれいにしたホタルの生息地、隠れ里ユガテ、長い歴史をもつ高山不動、吾野地区まちづくり推進委員会が中心となり建立した高麗川源流の碑、宿場として栄えた当時の面影が残る坂石町分の町並みなどを見学しました。

今回のツアーでは、福德寺でバスを降り、ハイキング道を散策しながらユガテまでたどり着きました。参加者は小学1年生から70代の幅広い年齢層でしたが、汗をかきながら全員が完歩しました。

高山不動では参拝をしたあと、住職から高山不動の経緯や阿弥陀如来坐像などについて貴重なお話を聞くことができました。また、推定樹齢800年の大銀杏も見学しました。時期が少し早かったため、まだ色づいていなかったのが残念でした。

高山不動からは奥武蔵グリーンラインを通り、林道刈場坂線途中にある「高麗川源流の碑」を見学しました。平成15年度に吾野地区まちづくり推進委員会が建立したもので、はじめて訪れる人も多かったようです。周辺が間伐され、きれいな源流に感動する人や源流の冷たさを感じる人、また、のどの渇きを潤す人もいました。

普段、あまり訪れることのない場所を見て回った今回のツアーでは、多くの人から、楽しかった、見学できてよかったなどの感想をいただきました。特に、高山不動での住職のお話は大変好評でした。今後も皆さんに喜んでもらえるイベントを催したいと思います。

秋の紅葉のシーズン、特に東吾野・吾野地区の紅葉はこれからです。この季節に東吾野・吾野地区を訪れ、その魅力を肌で感じてはどうでしょうか。



高麗川源流の碑で記念撮影



関東三大不動・高山不動を参拝



ハイキング道での散策の様子

会の活動報告(7月~10月)

自然環境部会・地球環境部会・生活環境部会では、定例勉強会を合同で月1回開催しました。

○定例勉強会 7月22日(土)(場所:富士見公民館 21名参加)

政策企画課、商工観光課、環境緑水課の職員を招き、山間地域振興計画における「花による地域づくり促進事業」についての説明を受け、質問・意見提言を行いました。

山間地域振興計画は、平成18年度から22年度までの5年間における山間地区(吾野、東吾野、原市場、南高麗、名栗)の計画で、地域の振興及び経済効果を見据え実施するもので、市が補助金を交付し、各地区で事業計画を作成し、特色ある事業を実施していくものです。

会議で出された主な質問、意見としては、地域に従来からある木や花を植栽した方がよい、環境面に配慮できるよう専門家による相談、指導できる組織作りをし、各地区の申請に対し適切な助言ができるようにすべきなどの意見が出されました。

各部会については、自然環境部会からは、環境マップづくりの状況報告、ハクビシンの被害について報告がなされました。

地球環境部会からは、今後の活動について鶴田部会長より説明がなされました。

地球環境部会の3年計画の活動方針として、地球に直接的な行動をする 地域の特徴を活かせるもの(森林文化都市宣言に同調) わかりやすく、すぐ行動できる活動 としました。現在、飯能の山林に自生している広葉樹の種子を採取し、苗木まで育て針葉樹の伐採後や必要とされる山林へ戻して、豊かな森づくり活動を推進していきます。

苗木づくりには、果実採取・種まき・育苗・苗木配布・植付け等の作業が必要ですので、プロジェクトチームをつくり会員や市民と共に実施していく予定です。

○定例勉強会 8月26日(土)(場所:富士見公民館 19名参加)

<自然環境部会>

天覧山周辺の里山の保全について

名栗最高標高の峠の名称について

環境マップづくりについて

桜の森構想について

<地球環境部会>

・「苗づくり3年計画」について、資料をもとに内容及び今後の活動計画について説明。

○自然環境部会・地球環境部会合同「自然観察会」

9月17日(日)(場所:能仁寺、天覧山散策路他 15名参加)

地球環境部会「苗づくりプロジェクト」として、はじめての野外活動を自然環境部会の企画による自然観察会「秋の草花をみよう」と合同実施で行いました。

森林インストラクター 古橋氏の案内で、植物を中心に説明を聞きながら初秋の天覧山周辺、ホタルの里を散策しました。秋らしい草花は、ススキ、ハギ、クズ、ワレモコウ、アキノノゲシ、ミズヒキ、キンミズヒキ等を見ることができました。

苗づくりの対象となる種は、コナラ、クヌギ、ヤマグリ、イロハモミジ、スダジイ、アカシデなどですが、果実がついていないもの、果実はついているが完熟前で採集時期がまだなものが多く見られました。唯一採集できたのは、エゴノキの種子で100粒ぐらいでした。

種子が少ないことは耳にしていましたが、実際、名栗の山でもアケビ、サルナシ、マタタビ、ガマズミ、ヤマボウシの実はほとんどありませんでした。このような状況は、他でも起きているのか、最近のニュースで野生動物が人里に現れ作物を荒らしたり、時には人への危害も加えていることが報道されています。今回観察した付近の沢や道端にイノシシが掘り起こしたと思われる大きな痕跡がいくつもみられました。

○ **定例勉強会** 9月23日(土)(場所:富士見公民館 13名参加)

< 自然環境部会 >

環境講座「名栗の山名と地名考」講演会の企画提案について

11月12日開催予定の自然観察会について 共催事業の事業費分担について

環境マップづくりについて 天覧山周辺の里山の保全について

桜の森構想のその後について 印刷機預り場所の依頼について

< 地球環境部会 >

・9月17日に実施した事業について、実施後の意見交換を行いました。

○ **地球環境部会** 9月30日(土)(場所:名栗げんきプラザ近くの市有林)

聖望学園が環境教育の一環として、飯能市より借りて管理している名栗の市有林(以前山火事になり草、雑木が繁茂)を、生徒や先生が植林するため作業している下草刈の見学やヤマグリの実を採取しました。ヤマグリの実は300個ほど集まり、発泡スチロールの箱に発芽待機中にしてあります。

○ **定例勉強会** 10月28日(土)(場所:富士見公民館 14名参加)

< 自然環境部会 >

11月12日予定の名栗での自然観察会の実施について

環境講座「名栗の山名と地名考」講演会の開催について

天覧山入りホタルの里保全計画について 桜の森構想について

山間地域振興計画「花による地域づくり促進事業」のその後について

早稲田大学「一学一山運動」、駿河台大学「森林環境プロジェクト」について

< 地球環境部会 >

・これまで実施した活動報告及び11月22日に行う植林体験の参加についてお願いしました。

< 生活環境部会 >

・新しく生活環境部会長として、田中聡憲氏が就任し活動していくことになり、今後の活動方針について報告がなされました。ごみ減量の問題を中心に、清掃活動など子どもを巻き込んだ活動を実施していく予定です。

・昨年実施した二酸化炭素削減啓発事業「エコライフDAY」を12月3日に今年度も実施する予定です。今年は小中学生を中心に実施する予定ですが、一般会員のご協力をお願いしました。



《全体事業》

まちなか清掃活動 10月28日(土) 主催:はんのう市民環境会議、飯能市役所互助会

11月4日、5日の飯能まつりの前に、市役所互助会との共催により「まちなか清掃活動」を実施しました。当日は、会員25人、市職員118人、合計143人が参加し、1時間~1時間半の活動を行いました。会員参加者では、小学生を含む一家での参加やニッター冷熱製作所の方も参加していただきました。

会員は、飯能駅から東飯能駅の範囲を中心にごみを拾いましたが、タバコの吸殻、お菓子の空箱(袋)、ビニール(レジ)袋などの可燃ごみが多くを占めました。拾ったごみの総重量は120kg、トラック1台分でした。作業中には、何人もの方にお礼やねぎらいの言葉をかけられ、また、ごみもなくなり清々しい気持ちになりました。

皆様のご協力により、飯能まつりを前に「まちなか」がきれいになりました。御礼と共に、今後の会の活動へのご参加をお待ちしております。

11月、12月の活動

部会の11月、12月の予定をご案内しますので、皆さんご参加ください。申込みが必要な会議などは、資料作成の都合等がありますので、ご面倒ですが事務局までご連絡をお願いいたします。

《11月》

12日(日) 自然環境部会

時 間：午前8時15分(集合)～午後4時ごろ(解散) 雨天中止

場 所：飯能駅北口 国際興業 名栗行きバス停前集合 8時29分発のバスに乗車

内 容：自然観察会「クマタカが見えるかも？」の巻 飯能駅から路線バスに乗り名栗観光つり場終点まで行き、そこから名栗湖へと下りながら、専門家の案内でバードウォッチングを楽しみます。

持ち物：弁当、水筒、筆記用具、お金、あれば双眼鏡、歩きやすい服装で

参加費：保険、ガイド料 300 円(子ども 100 円)

共 催：天覧山・多摩主山の自然を守る会

その他：申込み不要、直接集合場所へお集まりください。

バス代等交通費は、自己負担となります。名栗観光つり場まで、片道 680 円です。

22日(水) 地球環境部会

時 間：午前8時45分(集合)～午後3時ごろ(解散) 雨天中止

場 所：聖望・駿大の森(名栗げんきプラザ付近の市有林) バスで現地へ行きます。

内 容：聖望学園の生徒、駿大地域フォーラムの人達と一緒に広葉樹の植林をします。

その他：参加費無料、申込み、詳細については、市役所環境緑水課まで。

25日(土) 自然環境部会・地球環境部会・生活環境部会合同会議

時 間：午後6時30分～9時(要申込み、11月22日までに環境緑水課へ)

場 所：富士見公民館 2階和室(住所：双柳1-16【市役所北側】)

内 容：定例勉強会 6:30～7:30 は各部会毎のプロジェクト打合せ会議(マップ作りP、天覧入り谷津田保全P、苗木作りP等) 7:30～9:00 は、合同会議を行います。

申込み：希望者は、電話、ファクス等で市役所環境緑水課までお申込みください。

その他：参加者は、当日、富士見公民館にお集まりください。

生活環境部会長は、田中聡憲(たなか としのり)氏となりました。

26日(日) 自然環境部会 名栗を学ぶ講演会「名栗の山名、地名考」 同封のチラシ参照

《12月》

1日(金) 地球環境部会

内 容：駿河台大学の学生達と一緒に広葉樹の植林をします。(詳細は、後日通知します。)

3日(日) エコライフDAY2006 (詳細は、後日通知します。)

23日(土) 自然環境部会・地球環境部会・生活環境部会合同会議(予定)

時 間：午後6時30分～9時(要申込み、12月21日までに環境緑水課へ)

場 所：富士見公民館 2階和室(住所：双柳1-16【市役所北側】)

内 容：定例勉強会 11月会議と同様に時間を区切って話し合います。

申込み：希望者は、電話、ファクス等で市役所環境緑水課まで。

その他：参加者は、当日、富士見公民館にお集まりください。

12/23の合同会議の開催は、11月の会議により決定します。開催については、事務局までご確認下さい。

編集後記：10月17日、環境省から昨年度の「温室効果ガス排出量」速報値が発表されました。これによると、京都議定書の規定による基準年(1990年)に比べて8.1%の増加となります。また前年と比較しても0.6%増加しております。日本は、2008年から2012年の間に基準年(1990年)比6%削減の目標を掲げて、CO₂などの「温室効果ガス」削減の取り組みを進めていますが、依然として14%のギャップが続いております。難解な「森林吸収減」や「京都メカニズム」を考慮に入れても、目標達成のハードルがさらに高くなっています。

先日カナダのコロンビア大氷原を訪れたとき「地球温暖化」の現実を目の当たりにしました。ここの氷河は1年に25mくらいのスピードで流れていますが、昨今氷河の溶ける量の方が多く毎年3～5m氷河の先端部が後退していました。6月の環境月間事業で上映したSF映画「デイ・アフター・トゥモロー」が現実のものにならないよう「地球温暖化防止」につながる「省エネ」「省資源」「自然保護」などの取り組みを高める必要性を痛感いたしました。(広報委員長：伊藤知夫)

はんのう市民環境会議事務局 飯能市環境部環境緑水課

住所：〒357-8501 飯能市大字双柳1-1

電話：042-973-2111 内線232 F A X：042-974-6770